

シラバス参照[2022年度／数学科教育研究演習(D-1)(高木)／高木 悟]

授業情報					
開講年度	2022年度	開講箇所	大学院教育学研究科		
科目名	数学科教育研究演習(D-1)(高木)				
担当教員	高木 悟				
学期曜日時限	春学期 01:月7時限				
科目区分	演習(教科教育)・教科内容学	配当年次	1年以上	単位数	2
使用教室		キャンパス	早稲田		
科目キー	372B210403	科目クラスコード	01		
授業で使用する言語	日本語				
授業方法区分	【対面】ハイブリッド(対面回数半数以上)				
コース・コード	EDUX782S				
大分野名称	教育学				
中分野名称	教育学				
小分野名称	その他				
レベル	博士レベル	授業形態	演習／ゼミ		

シラバス情報					
授業概要	教育情報工学に関する新しい研究課題についての演習をおこなう。特に、テスト理論やファジィ理論・ラフ集合理論を応用した教育情報の分析法、その応用法に関する研究をおこなう。対面とオンラインを交互に組み合わせる。対面授業時は状況に応じてzoomで生中継し、オンライン授業時は基本的にzoomのリアルタイム形式でおこなう。この科目に続いて「数学科教育研究演習(D-2)(高木)」を履修すること。				
授業の到達目標	テスト理論やファジィ理論・ラフ集合理論を応用した教育情報分析について深く理解し、基礎理論・応用理論を研究することが可能となる。				
事前・事後学習の内容	テキストを決め、毎回セミナー形式で演習をおこなう。セミナーで発表するための準備に3時間程度を要する。				
授業計画	#1. ガイダンス #2～#15. 教育情報工学演習				
教科書	受講者と相談して決める。				
参考文献	「ファジィ理論 基礎と応用」山下元監修 瀧澤武信編著 共立出版 「ラフ集合と感性」森典彦他著 海文堂出版 「Rough Sets: Theoretical Aspects Of Reasoning About Data」Z. Pawlak著 Springer				
成績評価方法	<table border="1"> <tr> <th>割合</th><th>評価基準</th></tr> <tr> <td>平常点評価: 100%</td><td>演習での発表、準備、討論の態度などで評価する。</td></tr> </table>	割合	評価基準	平常点評価: 100%	演習での発表、準備、討論の態度などで評価する。
割合	評価基準				
平常点評価: 100%	演習での発表、準備、討論の態度などで評価する。				